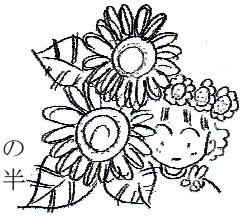
おやこの広場

ぷらっとカフェ 通信７月号

2009.6.25 発行 VOL.27

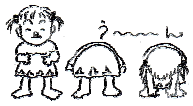


年に一度、7 月 7 日の夜に会うことができる織り姫と彦星ですが、実際の星の距離は 14.4 光年ほど離れていて、これは光のスピードでも約 14 年半かかってしまう距離。年に１度会うことはとても無理なんですヨ～

イラスト©マダム HIROKO

今月のカレンダー

月	火	水	木
１日～７日 ☆七夕ウィーク☆		1 開館	2 開館 保育士さんと話そう 14時～
6 開館 ちびっこ広場	7 開館 保育士さんと話そう 14時～	8 開館	9 開館
13 開館 ちびっこ広場	14 開館 子育てアドバイザー のなんでも相談 11～14 時	15 開館	16 開館 助産師さんの ほんわか相談日
20 **休館**	21 開館 保育士さんと話そう 14時～	22 開館	23 開館
27開館 ちびっこ広場	28 開館 子育てアドバイザー のなんでも相談 11～14 時	29 開館	30 開館



ちびっこ広場とは・・・

お外であんよが出来るようになった
お子さんを対象とした日です。
みんなが集まったら、手遊びをしたり、読み聞かせをしたり
隣の公園までお散歩に出かけますよ～
（公園に行く時は、ぷらっとカフェを１１時頃出発します
帽子　水分など暑さ対策お忘れなく ）
帰ってきたら、みんなで、一緒に「いただきます」をして
お昼を食べたりします。 一緒に遊んでみませんか？
ちびっこ広場カード （おこさんがシールを貼るタイプ）
ぷらっとカフェオリジナル（有料200円）もありますヨ

～子育てアドバイザー
のなんでも相談～
育児に関することなんでも気軽にお話
ください。予約もできます。
スタッフまでどうぞ。

～保育士さんと話そう～
都筑区子育て支援センター園の保育士
さんが月2回いらっしゃいます。

☆七夕ウィーク☆

ぷらっとカフェ 2009 年　今年の七夕は～
「親子で一緒に短冊を書こう！」
短冊に願いごとを書いて、オウチに飾ってくださいネ。
短冊を用意しておまちしてまーす。

助産師さんのほんわか相談　始まりま～す。
7月から毎月１回(不定期)助産師さんが、ぷらっとカフェにいらっしゃいます。
区内で、出張専門助産師として活躍中の石川初美さんです。医療行為などは行えませんが、気軽にご相談、お話くださいね。

♪ちょっと大人の簡単スイーツ♪
紅茶ゼリーはいかが？
アジサイがキレイな季節ですね。でもこの梅雨の時期、室内で過ごす日も多いかと思います。そんな時は簡単手作りスイーツでセルフ癒ししませんか？

材料　カップ５個分
　ゼラチン　15ｇ(前もって３倍のお水でふやかして)
　紅茶　550～600CC
　砂糖　大さじ 4～6(お好みで)
作り方
　① 紅茶をちょっと濃い目に作る（ティーパックなら２個）
　② 砂糖を加え、あら熱をとる
　③ ゼラチンを加える。とけなかったら再加熱。
　　（でも沸騰は禁物。固まらなくなるよ。60～70 度ぐらいが適温）
　④ 型に流しいれ、冷蔵庫で冷やして固まればできあがり～
　　トッピングに小さく切ったレモンやミントの葉をのせてもグー♪

おまえ　ぎゅうぎゅうだ！

～ちょこっとコラム～
友達が、うずらの夫婦を飼っています。茶色くて可愛いうずらは、毎朝卵を産むそうです。その友達が旅行のため、我が家で預かることになりました。鳥も人間と一緒で、環境が変わるとストレスのために、鳴いたり卵を産まなくなったりすると言われ、心配していたら案の定、最初の日は悲しそうに泣き続けるのです。夜は鳥カゴに覆いをして暗くしても眠れないようでずーっとガサガサ音がしていました。そして朝が来て、鳥カゴを覗いても卵は見つかりません。やっぱりストレスなんでしょうね、かわいそうに。私達家族もうずらちゃんに話しかけたり、鳥カゴをキレイに掃除したりと、愛情込めてお世話しました。
すると３日目の朝、ついに茶色いまだら模様のかわいい卵が産まれました！
家族みんなで喜びしばらくは眺めていましたが・・・その後おいしく食べさせてもらいました。ごめんね、うずらちゃん。でもおいしかったよ、ありがとう。
（お友達＝区内在住だそうです　by 編集）

～都筑知ってる！？情報～『都筑区』の名前の由来

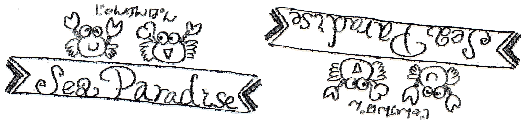
横浜市北西部一帯は、奈良時代から昭和 14 年まで「都筑郡」と呼ばれていました。都筑という地名が文献に初めて現われるのは、755 年に「万葉集」に載る筑紫諸国に派遣される都筑郡の防人が詠んだ歌の一首の作者を「都筑郡上丁服部於田（はとりべのおた）」と注記するのが最初です。その後、1994 年（平成 6 年）11 月 6 日、港北ニュータウンの建設に伴い、港北区と緑区から分かれて「都筑区」新設されました。「都筑区」の名称は、この歴史的に由緒ある地名を受け継ぐとともに、これからの街づくりが新しい「都を筑（きず）く」という区民の総意で進むことを願ってつけられたそうです。

平成 9 年 7 月には、区民同士が心一つにして唄える歌を作ろうと「都筑区民の歌製作委員会」が発足され、公募 50 曲あまりの中から、「都筑音頭」「夢のつづき」の２曲に決まりました。

●○◎　予防接種の話　◎○●

予防接種は、怖い感染症を防ぎ、赤ちゃんが健康に育つためには欠かせないものです。
事前に予防接種の知識をもち、疑問や不安を解消してから受けるようにしましょう。

現在、横浜市では、ポリオは福祉保健センター（区役所内）での集団接種、その他は協力医療機関（病院）での個別接種となっています。　特に第二子以降のお子さんにはご注意を！　数年前に生まれた第一子の時は、保健センターで接種したはずのものが、今では病院で接種になっています。予防接種は、いきなり病院に行ってもスグにはできません。事前に予約してから、接種しにいきましょうネ。
横浜では、母子手帳と同時に交付（無料配布）される「よこはま子育てガイドブックどれどれ」という冊子（平成 12 年より発行）があります。予防接種のスケジュールなどが記されています。育児家事もろもろにおわれ、忙しい日々だとは思いますが、今一度目を通してみてくださいネ。



●○◎　親を困らせる４つのパターン

「這えば立て　立てば歩けの親心」と我が子の成長を願っても、「歩け」の後にやってくる「反抗期」までは手放しで喜べませんよね（笑）。言うことを聞かない、ダダをこねる等、どんどん扱いづらくなってきます。でも、そうするには子どもたちなりの「目的」があるんです。それを知った上で、親の対応のパターンを変えると、疲れ度合いが違ってくるかも知れません。

まず目的には「関心をひく」「主導権を握る」「仕返し」「無気力」の４パターンが考えられます。例えば「ワルサをしてでも親の関心をひく」のが目的の子は、普段のな～んでもないときに親から関心を持たれてないかも知れません。それなら「普段のなんでもないとき」に「関心を持っていること」を伝えるような接し方に変えてみましょう。親からの関心は「得るものではなく与えられるもの」ということを子どもが理解すれば、「ワルサをしてでも…」という目的がなくなるワケですから、不必要なワルサをしなくなるかも知れません。つまり「ワルサをしてでも関心をひきたい」というパターンの場合、いらだって注意したら子どもの思う壺なんです。

７月のイベント情報～都筑ポップフェスティバル２００９～

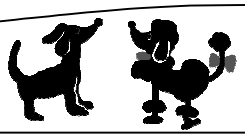
今年で１７回目を迎える、都筑の真夏のロックコンサート！歌あり、踊りあり…様々なパフォーマンスをお届けします。ぷらっとカフェスタッフで結成した「ブルーレディース」もオーディションに合格し、出演決定！！　子どもたちもママたちも一緒に踊りましょう　☆是非、応援しに来てくださいね～♪
当日は、打ち水イベントもありますよ～（こちらにも某スタッフ２名ほど出演予定）。
日時：７月２５日（土）開始予定１２：００　終了予定２０：００
　　「ブルーレディース」出演予定時間　１４:３５～１４：４５
場所：センター南駅前　すきっぷ広場　　入場：無料　　主催：横浜ロックサークル

おやこの広場『ぷらっとカフェ』
～利用案内～

妊婦さん、0歳からの子どもと保護者の親子の広場です。お茶をのみながら、気軽におしゃべりしたり、育児相談などもできますよ。地域の情報やサークル情報なども掲示しています。

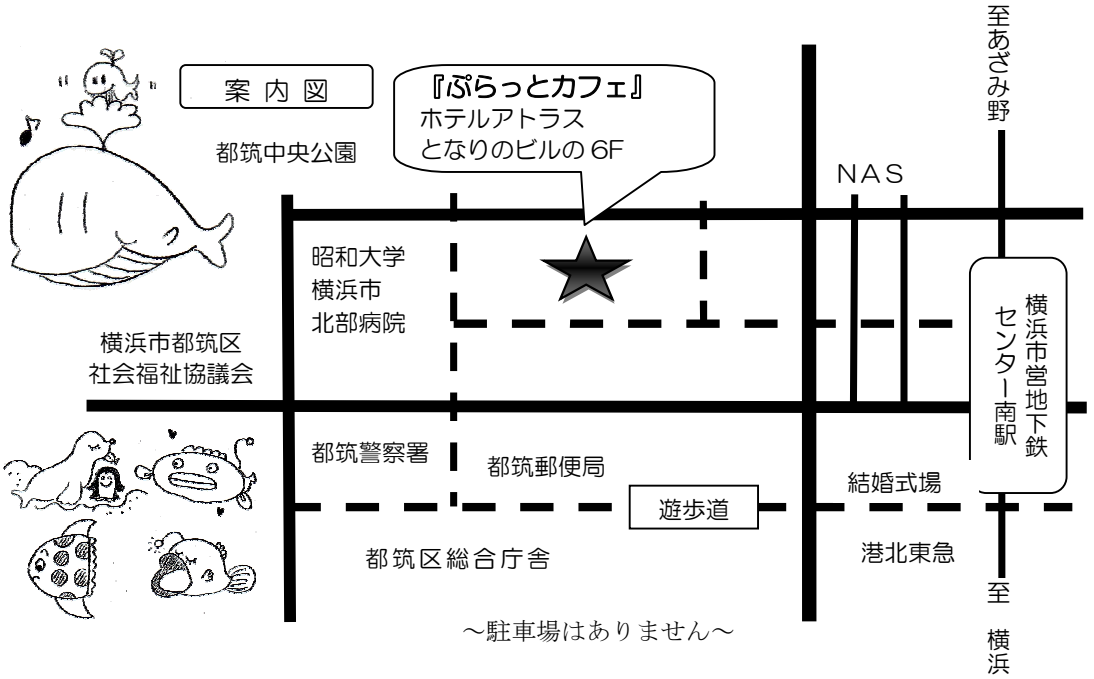
☆初めての方～受付で利用申込書の記入をし、会員登録をしていただきます。初回は、カード発行料300円+協力費200円＝500円かかります。
☆２回目～カードと協力費を受付にだしてくださいね。
（カード再発行料300円となります）

～ぷらっとカフェのスタッフ募集中～
お気軽にお問合せください。



～利用のお約束～

・ゴミは各自お持ち帰りください。
・離乳食やお弁当の持込は自由です。
・ランチタイム11時半～13時半
・電子レンジはありません。
・ドリンクは大人用のみで、セルフサービスです。
・保育施設ではありません。保護者の責任の下で、ご利用ください。
～皆様のご協力をよろしくお願いします～



発行：おやこの広場『ぷらっとカフェ』
開館日：月・火・水・木（週４日）　１０時～１６時
場　所：〒２２４－００３２
横浜市都筑区茅ヶ崎中央36-5　エルドラード横浜6F
（最寄駅　横浜市営地下鉄センター南駅下車　徒歩7分
北部病院そば　ホテルアトラスとなりのビル）
電　話：０４５－９４９－６１５３（開館日のみ）
協力費：大人１人200円　子ども無料 コーヒーなどのフリードリンク制
運　営：～人と街と地域をつなぐ～
ＮＰＯ法人 りんぐ りんく
HP　http://www.ring-link.info/
E-mail　info@ring-link.info　（担当：青柳）

横浜市社会福祉協議会の委託を受けて運営しています

編集後記：ダンゴ虫、蟻、ザリガニ・・・。生き物、昆虫のシーズン到来です。私の周りの子どもたちも、バケツやカゴを片手にあちこちウロウロ。得意げな表情で、捕まえた虫や生き物を見せに来てくれます。でも時には、虫を潰したり、手足を取ったり、殺してしまうことも。それも大切な経験だと思いますが、「命の大切さ」も伝えたい私。以前、「虫が痛いって言ってるよ」と声をかけたら、「え！どうして分かるの？！ぼくは虫が話すの聞いたことない！」と抗議の声。確かに、彼の言っていることは事実なんですよね。みなさんは、同じような場面、どうやって声をかけますか？　（スタッフO）